



＜暴風警報発令時の登下校について＞

新学期以降、低気圧の通過に伴って強風や雨脚が強まるのが何度かありました。そのたびに、「今日の登校は大丈夫かな。」と心配になられた方も多かったのではと思います。昨今、台風以外にも「爆弾低気圧」と称される低気圧の通過等で、暴風警報が発令されるケースが増えています。特に春は爆弾低気圧の発生も多いことから、保護者の皆様へ、もっと早く方針をお伝えしておくべきだったと反省しています。平成31年度にお伝えしている「暴風警報発令時の登下校」について、今一度取り上げてみたいと思います。

山口県の学校の危機管理の目安である、山口県教育委員会が作成した「学校危機管理マニュアルの作成指針」では、「朝6時に暴風警報が発令中であれば、原則休校」とされています。子どもの安全を第一に考えれば、その判断が妥当なのですが、急な休校には、子どもだけで留守番をしないといけない児童、給食食材の部分廃棄など、いくつもの課題があるのも事実です

下の画像は、過去に下関地方気象台が公開した防府市の警報の状況を示したデータです。「陸上」は強風注意報級の風が、「海上」は暴風警報級の風が吹くことが予想されています。ここで難しいのは、「陸上」と「海上」では、風の強さがちがいで、結果的に警報のレベルが異なることが往々にして起こりうることです。にもかかわらず、テレビ等では、陸上と海上の区別なく「暴風警報発令」と

報じられます。また、学校の所在地によって、海の近くの学校と内陸部の学校では状況は異なるはずですが、

学校としては、「警報の状況」「実際の風の状況」や「今後の予報」等を踏まえて、学校の判断と保護者の皆様へのお願い等を「安心安全メール」でお知らせします。登校する場合には、併せて、学校は、教員による登校の見守り等を行うこととなります。

また学校としては、風雨の状況をしっかり把握し、地理的条件を踏まえ、適切な判断を行いたいと考えますが、**急な天候の変化が生じた場合**など、子どもだけで登校することが

令和 2年 1月 8日 05時 05分 下関地方気象台発表

山口県の注意警戒事項
西部、北部では8日昼前まで、中部、東部では8日夕方まで、暴風に警戒してください。中部、東部では、8日夕方まで高波に警戒してください。

=====
防府市 **[継続] 暴風、波浪警報**
[解除] 雷注意報

防府市		今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象
発表中の警報・注意報等の種別		8日								9日		
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	12	14	14	12	10					
	海上	20	20	20	20	20	12	10	10	10	以後も注意報級	
波浪	波高 (メートル)	3	3	3	3	3	2	1.5				

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
 ■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
 各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。
 警報や注意報の発表、切替、解除を行った場合、本ページは通常は数分以内に更新していますので、ページを再読みし、最新の情報をご利用ください。

危険だと保護者の方が判断されたときには、**可能な範囲で、保護者による付き添いや送迎、登校時刻を遅らせるなどの対応（遅刻にはなりません）**をしていただきたいと思います。学校にいる間に暴風警報が発令されるなど、子どもたちだけでの下校が難しい状況になった場合は、かねてからお願いをしている「保護者への引き渡し」を行うこととなります。

災害への対応は、地域や保護者の皆様との連携が大切だと考えています。対応についての基本的な考え方については、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）やPTA理事会等でも継続的に協議をしていこうと思っておりますが、お気付き等がありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。どうぞよろしくお願ひします。